

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。決裁の上はHPに掲載してよろしいですか

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成28年8月16日（火）
 開催時間：10時00分～11時49分
 開催場所：全員協議会室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長
 足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員
 上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員
 道下議員、~~田畑~~議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員
 牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長
 教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長
 産業経済部長、産業経済部参事、都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長
 三隅支所長、教育部長、消防長、上下水道部長(広域行政組合事務局長)

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長 （報道）山陰中央新報社

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 浜田市有料駐車場の利用状況について
- (2) 浜田市の自治体情報セキュリティ強靱化への対応
- (3) 浜田市まちづくり総合交付金の交付状況について
- (4) 敬老乗車券交付事業の申請状況について
- (5) 島根県立大学学部増設要望に対する浜田キャンパスの検討結果について
- (6) 平成27年度健全化判断比率・資金不足比率（速報値）について
- (7) 年金収入 収入階層別の割合について（平成28年度）
- (8) 第6期介護保険事業計画に基づく事業者募集について（選定結果報告）
- (9) 「BUY浜田運動」実施方針について
- (10) 平成28年度 全国高等学校総合体育大会体操競技について
- (11) 旭温泉水有効活用事業の進捗状況について
- (12) その他

(配布物)

- ・地方創生推進交付金の申請に伴う「はまだ暮らし応援事業」の変更について
- ・「今後の県立高校の在り方検討委員会地域公聴会」の開催について
- ・高速バス（益田・浜田～東京線）の路線廃止について
- ・土地・建物等に係る譲渡収入金額の推移について
- ・「平成28年度臨時福祉給付金」および「障害・遺族年金受給者向け給付金」について
- ・平成27年度浜田市福祉・乳幼児等医療費の助成状況について
- ・浜田市広告付き窓口呼出番号案内表示システム設置運営事業の受託事業者の公募について
 （裏面へ）

- ・ふるさと寄附について
- ・HamadaWoods広葉樹活用プロジェクト連携協定について
- ・漁業別水揚げについて
- ・J T跡地活用プロポーザルの実施スケジュールについて
- ・弥栄小学校屋内運動場の完成について
- ・平成28年度運動会及び学習発表会等日程表
- ・公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の運営状況について
- ・新嘗祭献穀田について
- ・有限会社ゆうひパーク三隅の運営状況について（報告）

2 その他

- (1) 平成28年度国際交流協会会費納入について

【詳細は会議録のとおり】

西田議長

今日は田畑議員が欠席との連絡を受けている。ただいまから全員協議会を始めさせていただきます。

1. 執行部報告事項

(1) 浜田市有料駐車場の利用状況について

(2) 浜田市の自治体情報セキュリティ強靱化への対応

西田議長

2件一括で執行部から報告をお願いします。総務部長。

総務部長

(以下、資料(1)(2)をもとに説明)

西田議長

(1)について質問は、森谷議員。

森谷議員

この道分山立体駐車場の表を見ると、1月と3月が前年比2、3割で激減している。この理由は分析しているか。

総務部長

先ほども一部お答えしたように、前半は中国電力工事の関係と共通商品券発行による商業・宿泊施設利用が多かったことが理由として考えられ、その反動で減ったものと思われる。ただ1~3月に減っている分については、大型民間駐車場設置の影響がいくらかあるのではと思っている。注視していかねばならないと考えている。

森谷議員

そうではなく、中電の影響なら単発の月というのはおかしい。だいたい何ヶ月単位でないと。それから民間駐車場の影響は継続していなければおかしいのに、1月が約3割近く、3月も2割近い。それ以後や以前を考えると数字としては異常なので、その理由を質問したのだが。

総務部長

具体的に明確に回答出来るような分析をしていないので、少し検討させていただきたい。

森谷議員

少し外れるかもしれないが、集客しなければならない。8月4、5日の総体開催中に夜行ってみたら3分の1も埋まっていない。おかしいと思って見たら、野球場や400mトラックの中、普通なら絶対に駐車してはいけない場所に何十台も停まっていた。その一方で立体駐車場はガラガラだった。この辺のすり合わせはしないのか。

教育部長

8月初旬に高校総体で全国からお客様がお見えになった。教育委員会としては東公園一帯を全部貸し切り、全国から来たお客さん用駐車場として確保していた。遠くから来られる役員・審判団・一般観覧の方を含めて、多少あそこに車があったものと思われる。

森谷議員

今のは答えか。「多少車があったと思う」などという答えは望んでいない。すり合わせはどうなっているのか、チャンスなのにと聞いたのだが。

教育部長

全国からお見えになるための駐車場として確保していた。総務部とはすり合わせをしていない。教育委員会は教育委員会として、競技のためにあの一帯を一般開放していた。

森谷議員

それは構わない。収益が見込める立体駐車場がガラガラなことも構わないし、本来駐車出来ない場所を無料で提供するというのは考えられない。市役所トップの方々はどうお考えか。

教育部長

全国からお見えになる方々のために、そちらを優先している。

森谷議員

もういい。どうせ答えをずるずる引き延ばす作戦なのだろうから次に

移る。

屋上駐車場は同料金ではおかしいのではないか。2年前にアンケートを取ったら5000円くらいが妥当だという結果になったが、部長の方針で8000円となり依然ガラガラ。民間業者を圧迫すると言いながら新しい駐車場が出来ている。民間業者は需要があると踏んでいる。前部長は需要がないと言う。民間と公務員の認識にズレがある。5000円が妥当だという意見がありながら何の手も打っていない。行動が遅いのでは、どうして手をうたないのか。

総務部長

民間の経営感覚を取り入れながら市民サービスを向上する意味もあり、来年4月から駐車場は指定管理者制度の中でやって、管理者になられた方に検討していただこうと考えている。現在は各使用料を条例で定めているためその中でさせていただいているが、今後は上限額という規定の中で対応していきたいと思う。ご提案の件は提案者の了解を得て、新たな管理者と協議をしながら進めなければならない。5000円というアンケート結果については、先般指定管理者の公募によるプレゼンがあった際に議員の会社から説明を受けて資料もいただいた。確かに5000円＋消費税を希望される方がアンケート回答者の6、7割にのぼっていた。その辺も併せて協議検討したい。いずれにせよ住民サービス向上になる方法を取っていかねばならないと考えている。

森谷議員

ここで指定管理のことを言うつもりはなかったが、部長から指定管理の話が出たので関連して言う。掃除が全くなっていない。この掃除業者だけは何とかせねばいけないと考えていたが、その掃除業者が駐車場を3つとも独占してしまった。点数は良いのかもしれないが、選ぶのは浜田市側。そういう情報を知っているが通してしまったということは、正常な判断力が機能していないのでは。その業者には期待できないだろう。以前は、駅前の民間会社の活性化を狙って民間移譲すると言っておられたが、浜田で考えると巨大企業の子会社である。小さい民間会社の経済活性化からすると程遠い。どう思われているか。

総務部長

指定管理者選定については、この場での議論は控えさせていただきたい。公募によって選定委員会を開催して答申を受けたものを浜田市として結果分析し、候補者ということで現時点では考えている。12月議会で指定管理者の選定議案を提出させていただく。その時点でまたご議論いただきたい。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

では(2)について質問は。

(「なし」という声あり)

(3) 浜田市まちづくり総合交付金の交付状況について

(4) 敬老乗車券交付事業の申請状況について

(5) 島根県立大学学部増設要望に対する浜田キャンパスの検討結果について

西田議長

3件一括で執行部から報告をお願いする。地域政策部長。

地域政策部長

(以下、資料 (3) (4) (5) をもとに説明)

西田議長

(3)について質問は。布施議員。

布施議員

委員会を傍聴していて思った。課題解決特別事業、浜田自治区には問

地域政策部長 題点が特にあるように思うが、申請団体が14中5団体で少ない。年度初めに課題解決交付金の申請が受け付けられるが、途中からの申請も可能か。

今回は年度通して活動していただきたく、早めに申請を受け付けて決定をさせていただいた。ただ、今後こういう課題解決をやりたいという声があれば、予算的にもまだ対応可能なので、対応を検討したい。現在は支所も通じて各地区のまちづくり推進委員会に意向調査をしている。それを踏まえて今後の対応を検討したい。

布施議員 もう1つ、旭の和田地区まちづくり推進委員会から申請があった件について採用が4つ、残りは通常でやっていただくとのことだが、地元民からすればこういうことも継続的に問題解決していかねばならない、そのためにはある程度のお金が必要なのだと。そのために昨年度から交付金をカットして3段階部分を充実することで、今までやってきたまちづくりを更に推進していただきたいという説明があったと思う。ある程度お金がないと出来ない事業もあったと思う。その辺の審査は充分したのか。これを見ると、他の所が出しても採用されないのではと懸念される。どこを判断基準として最終的に選ばれたのか、明確な回答をお願いします。

地域政策部長 今回の和田地区のまちづくり推進委員会におかれては、支所の防災自治課とも協議した。これまでの取組を引き続き継続するような内容、または今年度分ではなく将来4、5年先の分まで今回まとめて決定いただきたいといった内容もあった。我々は単年度主義でやらせてもらっている、基本的な考えが違っていることもご説明させていただいたが、とりあえず申請はさせていただきたいということで提出いただいている。他の団体の採択状況を見ていただいても、今回はそれほど厳しくチェックしたとは思っていない。どちらかと言えば、新規性があればこれまでの取組についても柔軟な対応をさせてもらったと思っているので、逆にそういうことを各まちづくり推進委員会にもご説明する中で新たな基準を見出していただき、より有効に活用いただけるよう努力していきたい。

布施議員 問題解決特別事業は、浜田市全体の問題解決にも当たる。去年一昨年もやっておられたが、途中で成功事例を冊子を作って報告されて、参考にすることを今年もされるのか。

地域政策部長 例えば各事例発表については、昨年度まで28団体全てにやってもらっている。そのやり方を踏襲するかは決めていないが、課題解決の良い取組みをされている所もあるので、各まちづくり団体に紹介したり、そういうことがご理解いただけるような取組はやりたいと思っている。

西田議長
澁谷議員 澁谷議員。
裏面の美川地区まちづくりネットワークの美川夏祭り50万円採択となっている。これ50万円というかなりまとまったお金が採択になっている。祭りに50万円あると、新聞に折り込みチラシが入れられて神楽社中が呼べてカラオケ大会が出来て景品も用意できるという、かなりの金額である。祭りに対してこのようなものが採択された理由をお尋ねする。

地域政策部長 議員ご承知のようにこの美川地区の夏祭りは、かなり大規模で開催されている。これまでと同じ取組では交付しないことになっており、ただ、これまでよりも更に新規性をもって地域にプラスになるやり方をするなら採択するという事。今回の美川夏祭りについても新たな取組を加えて事業費をあげていただいた。今回交付上限の50万を要望していただ

いたので採択した。

澁谷委員

浜田市内には各地区に祭りがある。それらは基本的に自助努力でされており、高齢化と少子化の中で知恵を出しながらできる範囲内で、地元企業の協賛を受け、浜田市にも協賛の願いがあると思う。いまの部長答弁でいくと、今後何か新しい切り口を入れれば地区の祭りに対して……協賛が事業に補助金が出ないと、公平公正の原則からいっておかしいことになりはしないか。それで良いのか。

地域政策部長

祭りというイベントも地域の方がまちづくりをする1つのきっかけとして、集って交流するということでは必要性があると思う。ただ先ほど申したように、新規性や新たな課題解決となると、例えば来年また美川夏祭りの申請が出た時にそれを採択できるかどうかは分からないし、他のまちづくり推進委員会も、地域のために新たな取組をしていただけないことなら申請していただいて、それが該当するのであれば対象にしていくべきだと思っている。地域の色々な取組は、防災を切り口にしたり祭りであったり盆踊り、色んなことで地域の人と一緒に地域活動を進めていくことを我々は応援したい気持ちを持っている。補助対象になっていない活動でない限りは、なるべく応援してあげたいと思っている。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

では(4)について質問は。森谷議員。

森谷議員

対象は市内の公共交通機関とあるが、タクシーについて。見ていると私よりはるかに収入が多い人が券を購入しに来ておられる。敬老という言葉の先入観で、収入が少なく歳を取っている人という気がしていたのだが、所得制限がかかっていないから例えば70越えの大企業の社長にもこれが適用できるということか。

地域政策部長

公共交通機関と言えば通常はバス等を想定するが、中山間地域で移動手段のない方に有効な施策として今回はタクシー（介護タクシー含む）を対象にしている。高齢者の外出機会をいかに確保してあげるかが大事だと思っているので、バスだけでなくタクシーも必要と考えた。また所得制限については議論し、基準をいくりにするかどうチェックするかという話も出たが、自家用車をお持ちでありながらも利用していただければ市内の事業者プラスになるので、今回は所得制限を設けず70歳以上全員を対象にした。

森谷議員

所得制限を考えずにやっていたならまだ分かるが、考えた上で所得制限を外したのは信じられない。再考すべきではないかと思う。

西田議長

他に質問は。足立議員。

足立議員

7月1日から開始している事業だが、多分PRや周知方法として広報はまだやケーブルテレビもあったように思う。居宅介護支援事業所には個別に周知されたのか。

地域政策部長

居宅介護支援事業所というわけではないが、入所しておられる所等にもPRし、ご本人のおられない所は支援の方が委任状を持ってきてくださった例もたくさんある。

足立議員

何故居宅介護支援事業所の話題を出したかと言うと、ケアマネージャーがケアプランを作成する際に、当然70歳以上で浜田の場合は介護認定

率が24、25パーセント程度だったと思うが、そうなるとほとんどがケアマネージャーと接しているはずなのに、ケアマネージャーの中にも未だに知らない方がいらっしやり、逆にこちらが教えてあげる状況がある。大変良い事業なので、是非居宅介護支援事業所にしっかりPRしていただかないと、不公平が出てくるのだらうと思うので願います。

地域政策部長
西田議長
飛野議員

健康福祉部とも協議して、そういう所へもPRさせていただく。
続いて飛野議員。

大変好評な事業で益々利用しやすいよう目指していくと部長はおっしゃった。思うに、本来やっていた部分の交付率はまだまだ低いと私は考えているが、どうか。

地域政策部長

この事業の予算組をするにあたり、概ね対象者の30パーセントくらいを1つの目安にしている。というのは、9地区で試行した際に約35パーセント程度の利用率だったので、市街地含め30パーセントくらい、1人6冊くらいを目安にしている。70歳以上でも車を運転されている方が多数いらっしやり、そういう方に見たらこういう券は使わないという方もいらっしやる。逆に車を持っていない方には喜んでいただいている状況。周知不足で利用されていないケースもあるかと思うので、色んな角度で事業のPRをしながら、利用を希望される方にはしっかり利用していただける態勢を取っていききたい。

飛野議員

まだ1ヶ月なので想定の話をしてはいけないのだが、去年のデータを見ても旧郡部が低く終わってしまわないか懸念している。本来島根郷づくりカルテで支援緊急性の高いエリアを選んで始めたわけだが、この部分の数字がもし上がらなければ、本来の目的に達してこない。目玉事業が目玉でなくなってくる可能性がある。是非ともそれを念頭に置き、今後のPR等を進めて本当に良い施策になるようお願いしておく。

地域政策部長

購入の際にアンケート等させていただいたり、今後の課題もまだある。この事業は当面3年間は今のやり方でやるので、課題なりを検証しながら、市民のお役に立つ事業となるよう努力していく。

西田議長
牛尾昭議員

他に。牛尾昭議員。

この事業について私の周りでも好評である。ただ思うに、合計16.4パーセント、たかだか1ヶ月だからこんなものかという考え方もあるだろうが、今日の報告事項の7番目、年金収入階層別の割合、先日の総務文教調査会でも話が出たが、半額になっても買えない方がいるのだらうなという読みとり方も必要だと思う。今後の課題としては、年収の多い方に売るのはどうかという考え方もあるが、これが買えない方々のためにももう一捻りした施策の上乗せが課題になってくるのではないかと。是非、更に評価を高めていただくよう検討していただきたいがいかがか。

地域政策部長

これは平成26年10月から昨年9月にかけて試行事業を行った。その時は6分の1で交付したが今回は半額なので、当時に比べたら高くなったとおっしゃる方もいた。ただその時のアンケートで「半額でも買いたい」という声もたくさんあったので、予算も勘案して2分の1とした。低所得者、なかなか買えない方もいらっしやるならその方々への配慮とか、まだこの制度を良くしていく努力が必要だと思っている。そういう検証と必要があれば見直しをして、皆さんに喜んでいただける事業にしたい。

西田議長

他に。

	(「なし」という声あり)
西田議長 森谷議員	なければ(5)について質問は。森谷議員。 学部要望について、最大のネックは教室が足りないことだと思う。その他はここが無理なら不可能になる。大学側にとっては青天の霹靂で、何故突然こんなことを言われるのかという話も聞いている。検討会メンバーは先生なのか。
地域政策部長	基本的には大学内でやられたことなので詳細までは聞いていないが、副学長をトップに大学の先生等を中心に作られ、その中でまた部会を作られている。このことは大学を良くしていくために必要だとして提案しており、事務方や大学の関係者の方がどのように思っておられるか分からないが、必要な要望をしたものと我々は考えている。
森谷議員	大学の先生たちのメンバーで協議して駄目になった、その次には法人という言い方をされたが、法人が検討するというのはどういうイメージか。
地域政策部長	大学がどのように決められるか分からない。浜田キャンパスについてもメンバーは大学側が決めたので我々は関わっていない。法人ということになると浜田キャンパスだけでなく出雲や松江キャンパスを含める。メンバーは分からないが、松江キャンパスの学部見直しの際も同様の手順でやっている。
森谷議員	そういう説明のもとに考えると、理事とか、会社で言えば役員クラスだと思う。そうなるとう県や偉い人の天下り連中がざっといる。その人が話をするのだから、地位も名誉もあるが実態がどれだけ分かっているかは疑問。
地域政策部長	県立大学のベースコンセプトをお聞きしに行ったら、卒業者が県内に就職してくれることがとても重要だということだった。だから岩手や秋田等の過疎県から学生が来て、その人がまた戻ってノウハウを活かしてもらおうということは、学校のコンセプトから外れるとも聞いている。その辺はどう思われるか。
地域政策部長	設置者である島根県からも、この地域に折角の学生を残したく市としても協力して欲しいと依頼を受けている。市長から島根県市長会や町村会にも働きかけ、まず市町の公務員試験情報を早めに提供して受けていただく等、今回浜田市も採用試験情報を提供させていただいている。公務員だけでなく県内各種企業にも就職していただく努力として、就職フェア等も一緒にやらせていただき、我々も県内就職に繋がる努力をなるべく一緒に取り組んでいる。
西田議長	他に。
	(「なし」という声あり)

(6) 平成27年度健全化判断比率・資金不足比率(速報値)について

(7) 年金収入 収入階層別の割合について(平成28年度)

西田議長 財務部長	2件一括で執行部から報告をお願いします。財務部長。
西田議長 森谷議員	(以下、資料(6)(7)をもとに説明) (6)について質問は。森谷議員。 実質交際費率や将来負担比率は、数字が良くなるのは良いことだという印象があるが、良くなるということはその反面としてサービスをやっ

てないと読むことも出来るらしい。市民のために借入しない、事業をやらなければならぬこの比率はどんどん良くなるらしい。比率が良くなっていることについて、手放しで喜んで良いものか、住民サービスを提供していないことの裏返しと読むべきか。

財務部長

現在において財政サイドはかなり苦勞し、優良債（合併特例債・過疎債等）を充当する手法によって数値が良くなっている。もう1つ、ご指摘のとおり何もしなければ数値が良くなるのは確かだが、ただしそれをどういう目で見ると。単独で比較する時に私がよく部下に話すのが、下水道整備が進んでいるかどうか、地籍調査は進んでいるか、図書館が充実している等、教育インフラ、生活インフラがどの程度充当されているか、そういう目安になる。そういったものが既に充足されていて数値が悪いなら、それは住民にとっては大きな負担ではないかもしれないが、そういった数値が不十分で、地籍調査も下水道整備も進まない中で数値が改善された分が全て言えるかということ、そうではないと考える。今後そうした部分にも力を入れ、インフラを充足することで住民生活の満足度も上がると考えている。

森谷議員

結局金がないから色々なことはせず、とりあえず借金を返してきたと解釈した。

総務文教調査会では説明があったが、資金不足比率にはなっていないということだと思ふ。しかし左側の水道や簡易水道の項目を見ると、私の記憶では一般会計から金をふんだんに入れてもらっている。資金不足だから入れてもらっているものと思うが、資金を入れてもらった上で不足している・してないの判断をするなら、赤字になることなどあり得ないと思うのだが。この辺はどういうカラクリになっているのか。

財務部長

厳しいご質問。確かに言われるとおり。一般会計が潤沢であればいくらかでも資金が回せる。しかしそうではないので可能な範囲で繰入できている状況。今、単独収支の中でキャッシュフローで見れば赤字かもしれないが、一般会計からその分だけ資金調達があるので資金不足は発生していない。トータルで見て発生していないとご理解いただきたい。

森谷議員

異常な事態の1つだと思ふ。資金不足を一般会計から補ってもらっていることが意識できるようにした方が分かりやすいと思ふ。市民も協力態勢を整えるべき。市民は簡易水道・上水道で大赤字になっているとは思っていない。分かるような資料にすべきだと思ふが。

財務部長

ご指摘の点は重々分かる。ただし一定の健全化判断比率も資金不足比率も一定の基準に基づいて出しているのだからこういった形になっているが、言われた点は今後財政運営していく上で非常に重要かと思ふ。水道料金今後引き上げ予定もあるので、そういった中で市民の方に負担していただくのか、それとも財政的に充当できる数値なのかも鑑みながらやっていく。参考としてご指摘いただいた部分は何らかの形で、資料として分かるものを作成してみたいと思ふ。

森谷議員

総務省の表示は飽くまでも表示の規定で、これ以上に分かりやすく手を加えることについては何も規制していない。前回も物件費の中の本来の人件費をピックアップしていただいたように、読んで分かりやすい資料を心がけてもらいたい。

他に。

西田議長 (「なし」という声あり)
(7)について質問は。
西田議長 (「なし」という声あり)
ここで暫時休憩とする。再開を11時15分とする。

[11 時 07 分 閉議]

[11 時 15 分 閉議]

(8) 第6期介護保険事業計画に基づく事業者募集について(選定結果報告)

西田議長 執行部から報告をお願いする。健康福祉部長。
健康福祉部長 (以下、資料(8)をもとに説明)
西田議長 この件について質問は。
(「なし」という声あり)

(9) 「BUY浜田運動」実施方針について

西田議長 執行部から報告をお願いする。産業経済部参事。
産業経済部参事 (以下、資料(9)をもとに説明)
西田議長 この件について質問は。
(「なし」という声あり)

(10) 平成28年度 全国高等学校総合体育大会体操競技について

西田議長 執行部から報告をお願いする。教育部長。
教育部長 (以下、資料(10)をもとに説明)
西田議長 この件について質問は。布施議員。
布施議員 私も開会式から閉会式まで経験者として興味深く参加した。参加されたボランティアの方々お疲れ様。ただ一言申し上げますと、体操競技関係者の方から言われたのが、JR浜田駅に高校総体関連の横断幕が全くなかったと。浜田市で30年ぶりの開催で、市全体で歓迎していることを表すためには絶好のチャンスだったはず。その辺は県と市との調整はなかったのか。
教育部長 県と市との調整等ではなく、色々PRしたのだがそこだけ抜けたのだと思う。案内所も設けてPRさせていただいた。おっしゃったこと、2年後に中学校の全国総体を浜田に招致するので、またしっかりやっていきたい。
布施議員 これは前市長在任中に私が一般質問したことでもある。プロバスケットボールの公式戦が浜田で開催される時に、そのチームは浜田開催の試合は必ず勝つというジンクスがあった。あの時にその一勝でファイナルラウンドに進めるかという瀬戸際の試合もあった。しかし市は歓迎の旗も出さなかった。それを指摘したところ「次に活かす」と答弁された。全くなっていない。僅かな予算で出来るはず。浜田市全体のPR機会だと思って利用することが、浜田を元気にするもとだと思う。どう思われているか。
教育部長 おっしゃったことを心に留め、次に活かしていきたい。
西田議長 他に。
(「なし」という声あり)

(11) 旭温泉水有効活用事業の進捗状況について

西田議長
旭支所長
西田議長

執行部から報告をお願いする。旭支所長。
(以下、資料 (11) をもとに説明)
この件について質問は。
(「なし」という声あり)

(12) その他
(配布物)

- ・ 地方創生推進交付金の申請に伴う「はまだ暮らし応援事業」の変更について
- ・ 「今後の県立高校の在り方検討委員会地域公聴会」の開催について
- ・ 高速バス（益田・浜田～東京線）の路線廃止について
- ・ 土地・建物等に係る譲渡収入金額の推移について
- ・ 「平成28年度臨時福祉給付金」および「障害・遺族年金受給者向け給付金」について
- ・ 平成27年度浜田市福祉・乳幼児等医療費の助成状況について
- ・ 浜田市広告付き窓口呼出番号案内表示システム設置運営事業の受託事業者の公募について
- ・ ふるさと寄附について
- ・ HamadaWoods広葉樹活用プロジェクト連携協定について
- ・ 漁業別水揚げについて
- ・ J T跡地活用プロポーザルの実施スケジュールについて
- ・ 弥栄小学校屋内運動場の完成について
- ・ 平成28年度運動会及び学習発表会等日程表
- ・ 公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の運営状況について
- ・ 新嘗祭献穀田について
- ・ 有限会社ゆうひパーク三隅の運営状況について（報告）

西田議長
都市建設部長

その他で執行部から報告をお願いする。都市建設部長。
原井小学校跡地の売却について報告する。
(以下、資料をもとに説明)

西田議長
岡本議員
都市建設部長

この件について質問は。岡本議員。
近隣土地所有者との諸問題については解決できたのか。
東側の土地所有者の方と、土地境界について円満解決を求めてきた。
しかしなかなか同意に至らず、このたび東側土地との間に管地を設け、
将来的に水路にする等の管理用地を設けてから売ることには決断し、土地
開発公社理事会でも了承をいただいた。

岡本議員
都市建設部長

ということはこの部分は解決ができないから、こういう処置をした
と考えると良いか。

岡本議員

はい。解決を待っていては塩漬けになったままなので、先ほど申し上げたように分筆をかけて隣との間に緩衝地域、官地を設けて売りに出す。
早く売りたい気持ちは分かるが、ここで新たな問題が出てくる。という
ことは、原井小学校の敷地内住民は袋小路において片庭の通りに入る
形になっている。以前からの話では浜田川沿い方面へ解放できる道路を
設置して2方向等々に対応するといった話を聞いているが、今後どのよう
にされるのか。

都市建設部長	<p>これについては斜線部分の絵を見てもらうと分かるが、県営団地側の右側に道路が北へ向かって伸びており、これに繋がる形で道路線形を入れたもので分筆をかける。将来その土地の解決が図られた際には、その道路計画は再度行おうと考えている。</p>
岡本議員	<p>ここに県営住宅を作るにあたり、合庁側に緊急車両用通路を現在設けているので、火事救急の際にはここを消防が使うことになっている。</p> <p>この売却の可能性は。今は県営住宅が建っている。この図で言えば下の方、ほぼ南側になるが戸建てが建っている。今の面積3796平米においての建物の形態によってまちの景観なり道路事情も変わると思っている。現行ではどのように考えているか。</p>
都市建設部長	<p>ホームページでも掲載するが、ここは商業系の利用としてお願いして売ることになっている。買われた方が中に区割り道路を作るといったことに関しては当方は想定していない。可能性はあろうかと思う。</p> <p>このたび売るに至った経過の中で1つ、北側にガソリンスタンドが営業されていたが廃業され、その土地が更地になっていることもある。だからここを求める方がその土地を借りられて一体的な利用をされる、国道9号への取り付けが出来る可能性もあるので、商業系の土地として売りに出す。</p>
岡本議員	<p>ガソリンスタンドがあった所を含めて商業系のものになるだろうとのことだが、商業系の出入りの部分と住民関係の出入り部分は区別して考えなければいけないと思う。商業系が建った時に商業系企業によって、例えば今浜田市が思っているような方向へ展開できる道路を作れなくなる可能性もあるだろう。それを想定しているか。</p>
都市建設部長	<p>交差点の形状で墨切りをした部分で線を引いている。この道路が上へ上がって右に曲がって亀山橋のたもとに行き交差点に出るような道路線形を前から考えているので、先ほどおっしゃったような所でバッティングするとか当て外れになることはない。</p>
西田議長	<p>他に。 (「なし」という声あり)</p>
西田議長	<p>執行部報告事項、他にあるか。 (「ありません」という声あり)</p>
西田議長 森谷議員	<p>では議員から何か。森谷議員。 前回もそうだったが、結局調査会での質問は全部禁止され全協に回すとのことで、全協を見ると配布物になっているものがある、質問の場が全然なくなっている。3点ほど是非質問させてもらいたい。</p>
西田議長 森谷議員	<p>3点とはどれか。 財務の「土地建物等にかかる譲渡収入の金額」と「ふるさと寄附」。予めわかっているのはそれらで、あと1つはここかどうかは別として「三隅火電の火災」について聞きたい。</p>
西田議長	<p>配布物の件で、これは調査会の時に常任委員会にて全協に振られた経緯があった。その際に委員外議員が項目で質問されていたが、発言機会がなかったとのことなので、今回は発言を許可する。森谷議員。</p>
森谷議員	<p>譲渡収入の所で24年から27年までの推移表がある。26、27年が多くなっているのは三隅道路の買収ではないかと思っている。26年で10億円ちよつと、27年に10億円ちよつとだが、控除があつて恐らくこの金額の8割</p>

程度が可処分所得になっているはず。この8億円や10億円という金額は、経済効果と考えたいような財務部長の発言があったが、果たして経済効果になっているか、どういう比較をすれば良いかという、預金が8億円10億円増えるかどうかによって預金として経済効果に反映していないか。預金がないなら使われているのではという推測が出来ると思うが、経済効果と認識された根拠および預金について、状況が分かれば教えて欲しい。

西田議長
財務部長

財務部長。

突然に詳細な質問で驚いている。確かに経済効果があったように申し上げた記憶がある。それはこの部分、よくよく考えるとあの土地の所有者はなかなか売れない土地部分ではなかったか。そのようにまず分析してきている。そこで多額な金額が譲渡収入という形で2年間にわたり10億円以上の金額が入っている。もう1点はそれに対して収用事業ということで5000万円の特別控除があるので、税金部分がかなり軽減されている。ここでその表の中で特別控除額をあげている。そうすると預金も確かにあるかもしれないが他の部分で何らかの事業をされているのではないか。それでは単なる推計ではないかと言われればそのとおり。ただし私が見ている限りではこれら事業の中で9号線沿いに見たことない真新しいコインランドリーが出来ている。そういった事業に繋がっているとは感じているし、ふるさと寄附で多額な寄附をされた方がいるが、その方も恐らくこの事業における収入ではないかと分析している。

森谷議員

コインランドリーは福井4号線で買収された方。残念ながらお客は入っていない。

次に行く。ふるさと寄附。表を見て説明も聞いているが、分析がいまいち分からなかった。6、7月というのは7月にキャンペーンを打ったので使った経費が何百万かある、増えた寄附金額もあると思う。そのところの比較、簡単に教えてもらえるか。

産業経済部参事

まず六本木の夏祭りに参加した際の寄附受付、これは会場で受け付けたものとして報告させていただくが、7月15日から24日で104件、424万円の寄附を受けている。これに対して市や事業者連携会でPR等やっているが、かかった経費は事業者連携会へ市から、業務委託としてブースイベント開催やブース装飾、あるいはPR活動等に対して多くの方に参加してもらっているが、全て込みで260万円支出予定にしている。まだ精算が上がってきていないので、予定ということでご理解いただきたい。

森谷議員

テレビやチラシ、新聞に出す等の広告宣伝部分も加算されると思う。本来寄附というのは品物が欲しくてやるべきものではなく、リタイアしたしお金はあるしということで100万円とか1000万円やるのが本来の寄附だと思う。そのような寄附はあったのか。

産業経済部参事

7月中については大口寄附もあった。金額は1件500万円というのがあったと記憶している。

森谷議員

本来の寄附とそういう寄附とを区別して整理される方が、ブームに乗ったものと本質的なものが分かって良いのではないか。前年比にする場合も、区別ははっきりしていた方が統計としてあるべき姿になるのではないか。

西田議長

質問は全て終了か。他に議員から何かあれば。

(「なし」という声あり)

2. その他

(1) 平成28年度国際交流協会会費納入について

西田議長 国際交流協会会費納入についてはよろしいか。
(「はい」という声あり)

西田議長 ではその他の中で質問は。森谷議員。
森谷議員 新聞に載った三隅火電の火災。消防はどのような対応をしたのかも含めて火災原因等が分かれば説明して欲しい。

産業経済部参事 まず私から概況だけ説明させていただく。昨日16時37分に発電所員が発電に用いる石炭を石炭サイロからボイラー建屋に送るコンベアを乗り継ぐ設備を納めた建屋から発煙を確認された。これを受けて他の発電所員がただちに初期消火を行うとともに発電所から浜田市消防本部へ通報が行われた。その後、消防による消火活動及び現地確認が行われ、17時40分に沈下が確認された。原因について昨日の段階では調査中だった。これによる運転への影響だが、運転は継続実施されており発電への影響はないとうかがっている。

森谷議員 新聞では浜田市消防が出動したような記載はなかった。会社内だけで処理出来たような記載だったと思うが。

消防長 消防署から出動している。覚知が15日の16時41分。消防としては第1出動が危険物火災ということでタンク車、化学車、はしご車、指揮車、防災車、それから三隅消防車が出ている。原因については現在調査中。

森谷議員 出て作業はされたのか。出動するだけで作業はせず帰ったのか。
消防長 実際には職員が放水しており、他に延焼がないとのことだったので、消防としての消火活動はしていない。消火確認して帰った。

森谷議員 原因究明だけ、分かったら発表して欲しい。
消防長 はい。
西田議長 他に。

(「なし」という声あり)

西田議長 ではここで執行部の方はご退席いただいて構わない。

《 執行部退席 》

三浦局長 事務連絡させていただく。お手元に国際交流協会の会員の議員には、年会費納入についてのお願い文書が配布してある。これについて9月報酬で引かせていただくので、例年通りよろしく願います。

西田議長 全体を通じて議員から何かあれば。
(「なし」という声あり)

西田議長 なければ以上で全員協議会を終了する。

[11 時 49 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西田清久